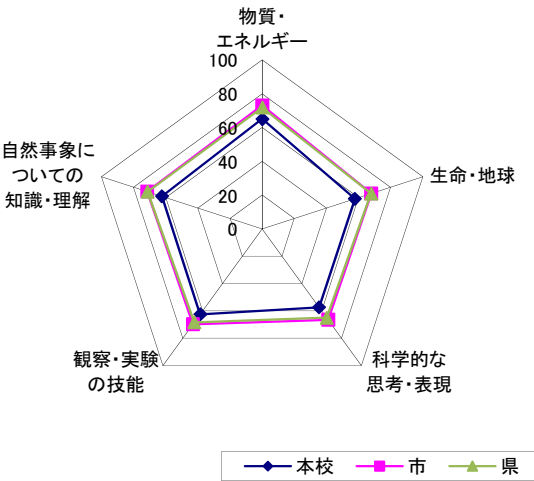


宇都宮市立上河内東小学校第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	65.1	73.1	71.8
	生命・地球	57.7	67.9	67.8
観点	科学的な思考・表現	57.3	66.5	65.0
	観察・実験の技能	62.5	69.7	68.4
	自然事象についての知識・理解	62.4	71.6	71.4



★指導の工夫と改善 ○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○はかりを正しく使うことについては、市・県の正答率を上回っている。 ●物は、形が変わっても重さがかわないことが分かることについては、市・県の正答率を下回っている。 ●光、磁石の性質の理解については、市・県の正答率を下回っている。 ●回路の意味の理解については、市・県の正答率を下回っている。	・「ものと重さ」や光、磁石の性質については、学習プリントなどで、内容を補足説明する。また、デジタル教材を利用して詳しい内容をもう一度再確認させる。 ・「電気のはたらき」の学習の際に、具体物を操作させるなどして、回路の意味についてももう一度確認させる。
生命・地球	○昆虫の飼育の仕方や昆虫以外の虫との区別、植物の花の様子や観察カードを書くことについての理解は、市正答率と同程度である。 ●昆虫によって変態の仕方が違うことについての理解については、市・県の正答率を下回っている。 ●身近な自然の観察については、市・県の正答率を下回っている。 ●太陽と地面の様子については、市・県の正答率を下回っている。	・身近な自然や、生き物の観察については4年生でもう一度学習をする機会がある。実際に観察をする活動を通して学習内容を定着させる。 ・月や星の動きの学習と関連させて、太陽と地面の样子の学習内容をもう一度確認させる。